

朝食以外の開拓がカギ

ジ

ヤ

ム



うすぐもり

朝食だけでなく間食や料理需要の掘り起こしに、改めて注力する動きもある。成熟が進んだ市場に、少しずつ変化の兆しが見え始めている。ただ課題は、家庭でのジャム使用量が伸び

市場は一進一退ながらも安定した推移を保つ。PB比率の拡大などを背景に下落が進んでいった紙カップの売価も下げ止まり、瓶ジャムでは低糖度品やフルーツプレッドが躍進。次なる成長を目指す施策も活発だ。

ないこと。パン、ヨーグルトにはほぼ限られているジャムの用途拡大や、朝食以外の食シーン開拓もカギとなりそうだ。

ジャム類生産量推移

(日本ジャム工業組合)

